

Meiji Seika ファルマ株式会社

2026 年 3 月 3 日

選択的 PDE4 阻害剤「ME3183（一般名 morcamilast）」の欧州連合（EU）における掌蹠膿疱症を対象疾患とする希少疾病用医薬品指定に関するお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永里敏秋）は、2 月 23 日、選択的ホスホジエステラーゼ 4（PDE4）阻害剤「morcamilast」（国際一般名（pINN）、開発コード：ME3183）について、欧州委員会（EC）より掌蹠膿疱症を対象疾患とする希少疾病用医薬品の指定を受けましたのでお知らせします。

掌蹠膿疱症は、手掌と足底に無菌性膿疱を多発する慢性炎症性疾患です。皮膚の痛みや痒み、さらに 爪病変や関節痛を伴うこと、手掌は人から見える部位であり、足底は歩行時に疼痛を伴うなど、日常生活における機能が制限され、QOL（生活の質）の著しい低下を招くことがあります。尋常性乾癬や膿疱性乾癬とは異なる病態で治療に難渋するケースもあり、新たな治療の選択肢が求められています。

ME3183 は、Meiji Seika ファルマが自社で創出した経口投与可能な新規の選択的 PDE4 阻害剤です。既承認の PDE4 阻害剤に比べて高い抗炎症活性（TNF- α 産生阻害活性約 30 倍）を有することが特徴で、尋常性乾癬患者を対象とした臨床試験においても高い有効性が示唆されています。本試験結果は皮膚科学分野の学術誌「Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology」に掲載されました。<https://doi.org/10.1111/jdv.20863>

本剤は、尋常性乾癬に加えて、局所治療で効果不十分な掌蹠膿疱症患者を対象に、早期の患者さんへの提供を目指し、外部パートナーとの連携を含めた開発および事業化の可能性を検討してまいります。

Meiji Seika ファルマは ME3183 を治療満足度の低い自己免疫疾患を対象に開発を進め、一日でも早く安全かつ有効な治療薬をお届けできるよう努めてまいります。

以上